

【性格類型診断テストの仕様書】

【前提条件】

- 性格類型は、P 系統、A 系統、I 系統、D 系統の 4 類型
- 各系統の質問数は 20 問ずつで、1 問あたり 5 点満点
- 各系統を 100 点満点で審査する
- 各系統のうち、最も数値の高い系統を基本系統とする
- 各系統のうち、2 番目に数値の高い系統を補助系統とする
例：PA 型（P の数値が 1 番目に高く、A の数値が 2 番目に高い場合）
DP 型（D の数値が 1 番目に高く、P の数値が 2 番目に高い場合）
- 性格類型の全類型は、基本系統 4 類型×補助系統 4 類型＝16 類型
- 各系統の中に要素（「●●傾向がある」という特徴を持っているということ）があり、それぞれ 4 つずつある
- P 系統と A 系統が正反対の特徴、I 系統と D 系統が正反対の特徴
- 同順位（同数値）の系統が発生した場合の優先順位は D→P→A→I の順番
- PP 型、AA 型、II 型、DD 型は「純粋類型」という
- 純粋類型とは、基本系統と補助系統との間に 20 以上の数値差がある場合をいう
→例えば、P：100 A：66 I：68 D：62 の人は、PP 型となる
- 実際に表示する際には、16 類型それぞれに名称（「エンターテイナー」など）をつけて表記する

【基本系統の特徴説明】

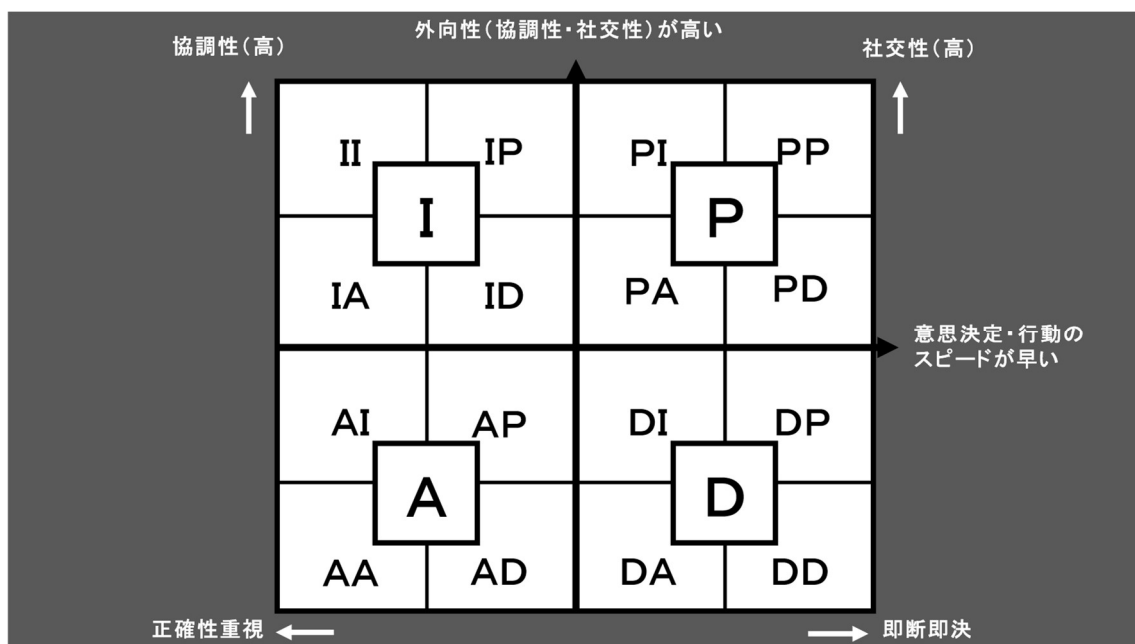
- P 系統の特徴：**基本的に明るい性格で、何事も前向きに捉える（ポジティブ傾向）。物事をシンプルに考え、複雑なことを嫌う傾向が強いためミスも多い（単純化傾向）。深く考えるよりとにかくやってみようとする（行動重視傾向）。直感的な発言や行動が多い（感覚重視傾向）。
- A 系統の特徴：**何事も慎重に検討して最善策を見つけ出す努力をする（慎重傾向）。仕事は丁寧で、ミスも少ない（精度重視傾向）。行動を起こす際は、まずは情報を収集し知識を得てから動くことが多い（知識重視傾向）。発言は論理的で、感情に任せた行動はあまり取らない（論理重視傾向）
- I 系統の特徴：**周りの人間との争いを避け、皆で仲良くすることを好む（協調性傾向）。決断や責任を取ることが苦手で、選択に時間がかかってしまう（優柔不断傾向）。

リスクの大きなことをわざわざ行うことは少なく、より確実な利益を取りに行く傾向がある（リスク回避傾向）。孤独を嫌い、チームに属することを好む（チーム愛好傾向）。

D系統の特徴：周りの人間との良好な関係値よりも、合理的な決断や意思決定を優先する（合理性傾向）。意思決定や行動に迷いが少なく、即断即決で行動に出る（即断即決傾向）。自らリスクを取ることが多く、自己の選択に責任を持つ傾向が強い（リスク愛好傾向）。チームに属することはあるが、個々人の実力や能力を重視する傾向が強い（個人主義傾向）。

【16 類型の四象限図】

図 1 各類型の特徴を四象限で表現



【各類型の名称と概要】

類型	名称(～タイプ)	概要
PP	エンターテイナー entertainer	明るく社交的で、楽道家。チーム内のムードメーカーになりやすい人材。長く落ち込まない類型で、最後はいつもポジティブシンキング。チームの中にいると周りまで明るくしてくれるタイプ。
PA	ブラックスミス blacksmith	明るく大胆な性格と正確かつ緻密な性格を併せ持つタイプ。基本的に社交的で、誰とでも打ち解けやすいが、自分の専門分野に関しては遊び無しで真剣に向き合う鍛冶職人のような気質を持っている。
PI	バランサー balancer	一定の社交性と協調性があるので、組織の中で調整役として活躍することが多いタイプ。根は明るく前向きだが、心配性なところがある。最初は人見知りが入る傾向があるが、慣れてくると人懐っこい性格が表に出てくる。
PD	アントレプレナー entrepreneur	思いついたことを次々に行動に移すため、営業職や事業家に多いタイプ。何かを思いついてから、行動に移すまでがかなり早く、頭の回転も早い。全体の2割くらいの知識しかなくても、ある程度のところまでできてしまうほど要領がいい器用な類型。
AP	バトラー butler	日頃は正確かつスピーディーな仕事をしてくれる頼れる執事のような気質で、一見するといつも冷静で真面目な性格に見えるが、打ち解けてくるとドンドン社交的になっていき、信頼できる仲間になっていくタイプ。
AA	リサーチャー researcher	高い調査能力で情報を集めてくるため、一つの分野に絞って業務を任せると「歩く Wikipedia」のような存在になる。勉強も得意で、好きな分野に関しては徹底的に知識を得ようとするヲタク気質がある。知的で冷静な人が多いため、知識面で頼りになる存在。
AI	ハードワーカー hard worker	コツコツと正確に作業を積み重ねることに長けた人材。責任感が強い人が多いため、よく働いてくれる。自分の考えや価値観を言語化するのに時間がかかるため、じっくり考えて正確なことを言うタイプ。周りをよく観察しており、分析力もある。
AD	アナリスト analyst	高い分析力と合理性を併せ持っており、他人の間違いや矛盾点をすぐに見つけられるタイプ。このタイプにダブルチェックを依頼すると仕事の精度が高くなる。膨大なデータを類型化し、見やすくすることも得意。

IP	ベーシック basic	日本人に多い類型で、何の事務をさせてもある程度でき、程よく社交性も持っているタイプ。周りによく気を配って生きており、争いを好まない傾向がある。責任感もある程度あるので、頑張りすぎてしまうことがある。数が多い類型であるため、細分化すると様々な人がいる。
IA	サポーター supporter	指示されたことを正確にこなすため、事務員としての適性が高い。しかも、心配性な性格であるため、自分で調査し、適時に報告・連絡・相談をしてくれる。部下として優秀な類型であり、タスクを安心して任せることができる。ただし、頑張りすぎる傾向が強いいため、タスクの抱え込み過ぎには注意が必要。
II	カラーレス colorless	根が優しい性格をしているため、動物や植物に関わる仕事に向いている。強い自我や個性を有さないタイプなので、ある程度自分で個性をコントロールでき、どのような組織にも溶け込むことができる特殊な類型である。周りをよく観察し、些細な変化にも敏感に気づくことができる。
ID	ディープシンカー deep thinker	思考の幅が広く深いため、様々な不安要素を洗い出すことができるタイプ。内心では様々なことを考慮し、慎重に決断をくだす類型であるが、外部には「決断力」のみを示すことが多い。決断した後も脳内で何度も思考し直し、間違いがないか確認する傾向が強く、失敗が少ない。
DI	ポリティシャン politician	日頃は即断即決で行動し、人を引っ張っていく人材だが、一人になる時間ができると冷静に物事を分析し、過去の決断が正しかったかどうかを深く考えるタイプ。自問自答を繰り返す類型であるため、年齢と共に成熟度が増していきやすく、失敗をしなくなっていく。
DP	リーダー leader	強いリーダーシップ、高い合理性と行動力、さらには社交性まで併せ持っており、責任感も強い類型である。そのため、チームを率いる存在になることが多い。瞬時に物事を理解できる頭脳も持っていることが多いため、ある程度のことは何でもできてしまう。決断力も高いため、思いついてから行動するまでのスピードが異常に早い。
DA	ガバナー governor	広い視野と高い分析力を有し、物事の仕組みやルールを創る側にまわることが多い類型。元々のポテンシャル(潜在能力)が高いため、周りから信頼されやすく、リーダーに選任されることが多い。年齢と共に専門性を身につけた場合、多くの人が経営層またはマネジメント層に入る。

DD	ディクテーター dictator	即断即決即行動の最たる類型で、他人の意見に左右されない強い個性を持ったタイプ。目的達成に対する意欲が極めて強く、自分で決めた目標は達成することが多い。特定の分野に精通した場合、他の追随を許さないほどの専門家になりやすく、世界でも通用する人材になりやすい。
----	---------------------	---

【質問の出し方イメージ】

質問例 イメージ

Q. 自分は明るい性格だと思う（P型のポジティブ傾向を測る質問）

該当しない

0点

どちらでもない

2点

ある程度該当する

3点

該当する

4点

完全に該当する

5点

優柔不断類型であるI型の点数に1点加える。

各選択肢に応じて、P型の点数及びポジティブ傾向の点数に1点配点
 「どちらでもない」を選んだ場合は、I型の点数にも1点配点する
 （この場合、I型の優柔不断傾向の点数には配点しない）

※ユーザーの実際の画面では、配点は表示しない

【特徴リスト】

(1) ～ (4) が各系統の特徴 (傾向)

1. P 型系統の特徴 (1) ポジティブ傾向 (2) 単純化傾向 (3) 行動重視傾向 (4) 感覚重視傾向	2. A 型系統の特徴 (1) 慎重傾向 (2) 精度重視傾向 (3) 知識重視傾向 (4) 論理重視傾向
3. I 型系統の特徴 (1) 協調性傾向 (2) 優柔不断傾向 (3) リスク回避傾向 (4) チーム愛好傾向	4. D 型系統の特徴 (1) 合理性傾向 (2) 即断即決傾向 (3) リスク愛好傾向 (4) 個人主義傾向

【各系統の特徴の説明】

P 型系統の特徴	
ポジティブ傾向	明るく前向きな傾向。この数値が高い場合、落ち込むことがあってもすぐに立ち直りやすく、営業職や接客業、チーム内のムードメーカーとしての適性が高くなる。
単純化傾向	物事をシンプルに考える傾向。複雑なことを単純化できるという意味ではプレゼン能力、商談力などに影響する傾向。この数値が高い方が企画職、営業職などへの適性がある。
行動重視傾向	考えるより先に行動に出る傾向。この数値が高い場合、行動力がある人材となり、営業職、企画職、対人折衝業務への適性が高まる。
感覚重視傾向	論理より感覚を大切にする傾向。この数値が高い場合、感覚を重視した言動が多くなるため、芸術家やクリエイティブ性の高い職種への適性が高くなる。

A 型系統の特徴	
慎重傾向	物事を慎重に分析する傾向。この数値が高い場合、行動をする前にまずはよく考える傾向が高くなるため、コンサルタントや経理職などの正確性が求められる職種への適性が高まる。
精度重視傾向	一つ一つの作業や思考を緻密に行う傾向。この数値が高い場合、緻密な作業を丁寧に行う人材になりやすいため、高い分析力が要求される経理・財務・エンジニア等の職種への適性が高くなる。
知識重視傾向	知識や情報を重要視し、学習する傾向。この数値が高い場合、自学自習の習慣が身につけている人材であることが多く、先々専門職に就く可能性（またはすでに専門職人材である可能性）が高くなる。
論理重視傾向	物事をロジカルに考え、外部にもロジカルに発信する傾向。この数値が高い場合、物事を論理的に考え、説明する能力が高くなるため、企画職や管理職への適性が高まる。

I 型系統の特徴	
協調性傾向	周りとの調和や平和を重視する傾向。この数値が高い場合、他人と揉め事を起こす可能性が低くなるため、協調性を重視する組織やサポート業務への適性が高くなる。
優柔不断傾向	物事の判断、意思決定が苦手な傾向。この数値が高い場合、他者の決定や決断に従う傾向が強くなるため、従順な従業員となる可能性が高くなる。一方で、管理職への適性は下がる。
リスク回避傾向	リスクを回避する傾向。この数値が高い場合、自発的にリスクを取るようなことはしない傾向が強まるため、他人の指示や決定に従う従業員になりやすくなり、意思決定を要求される職種への適性は下がる。
チーム愛好傾向	チームの調和を重視し、仲間と共にいることを好む傾向。この数値が高い場合、個人プレーよりもチームプレーを重視する組織や企業との相性が良くなる。

D 型系統の特徴	
合理性傾向	最も合理的な選択肢を選ぶとする傾向、または合理的な判断をする傾向。この数値が高い場合、より合理的な選択肢を選ぶとする人材になることが多いため、管理職や経営者としての適性が高まる。
即断即決傾向	意思決定のスピードが速い傾向。この数値が高い場合、決断力のある人材になりやすく、管理職、リーダー、経営者の適性が高くなる。

リスク愛好傾向	積極的にリスクを取りに行く傾向。この数値が高い場合、自発的にリスクを取って行動するため、経営者、管理職、フルコミッション型営業などへの適性が高くなる。
個人主義傾向	チームで活動するよりも、個人での活動を重視する傾向。この数値が高い場合、自分の意思で自分の能力の向上のために努力をする人材となりやすいため、専門職、管理職、起業家などへの適性が高くなる。

【質問リスト】

PAIDそれぞれの要素（傾向）ごとに5問ずつ。系統全体では20問ずつ。

※出題の際は必ず全類型の全質問をランダムに出す。

P 型系統の質問

P 型系統（ポジティブ傾向）
自分は明るい性格だと思う
人生、頑張れば何とかかなると思う
嫌なことがあってもすぐに切り替えられる方だ
選べる選択肢が多いと嬉しくなるタイプだ
自分は強運な人間だと思う

P 型系統（単純化傾向）
何事もシンプル・イズ・ベストだと思う
難しい説明よりイメージや図で単純化して説明して欲しい
うっかりミスをたまにやる
無駄に複雑なもの、難解なものが苦手だ
物事を理解する際は要点を理解するよう努める

P 型系統（行動重視傾向）
休みの日は基本的に外に出かけることが多い
行動し続けていれば自然と上手くいく気がする
チャンスを掴むためには迅速な行動こそが重要だと思う
何事も動きながら考えた方が効率的だと思う
いろいろと考えるよりとりあえず行動してみるタイプだ

P 型系統（感覚重視傾向）
決断においてはノリが重要だと思う
自分は直感的な方だと思う
自分は感情表現が豊かな方だと思う
物事を感覚的に判断しやすい方だと思う
映画や漫画でよく泣く方だ

A 型系統の質問

A 型系統（慎重傾向）
自分は慎重な性格だと思う
人生は計画や準備が何よりも重要だと思う
失敗の原因をよく分析する方だ
選択肢が複数ある場合はよく調べて比較する方だ
何事もじっくりと計画的に進めていきたい

A 型系統（精度重視傾向）
何事も正確性にこだわる方だ
過不足無く必要十分な情報を正確に伝えてほしい
仕事においては細部までしっかり確かめる
雑な仕事はしたくない
物事を理解する際は細部まで理解するよう努める

A 型系統（知識重視傾向）
好きなことについては徹底的に勉強する
新しい知識を得ることに喜びを感じる
チャンスを掴むためには知識が重要だと思う
何事も十分に調査して行動した方が効率的だと思う
十分な知識をつけてから動きたいタイプだ

A 型系統（論理重視傾向）
発言する際は論理の流れに注意している
自分は論理的な人間だと思う
他人の説明の論理矛盾にすぐ気づくタイプだ
理路整然とした文章を読むと感動する
理屈っぽいとよくいわれる

I 型系統の質問

I 型系統（協調性傾向）
周りの人の意見に従うタイプだ
決断力のある人のそばにいる方が安心する
意見の対立が生まれたときは譲る方だ
自分は協調性に優れていると思う
自分の意見をいうのは得意ではない

I 型系統（優柔不断傾向）
自分は優柔不断なタイプだと思う
選択肢が複数ある場合は選ぶのに時間がかかる
自分で決断したことでも、後で不安になることがある
選択肢に迷ったときは、周りによく相談して決めるタイプだ
断定的な回答をすることが苦手だ

I 型系統（リスク回避傾向）
自分で意思決定するより、上司の決定に従う方を好む
あまりリスクは取りたくない
自分にできそうにないことは避けたい
間違うことが怖いので発言を控えることがある
無謀な挑戦よりも着実な一歩を好む

I 型系統（チーム愛好傾向）
一人でいるより誰かと一緒にいたいタイプだ
大勢の中の一人でいる方が楽でいい
一人で全責任を負うより、仲間と共同で背負っていきたい
他人をサポートすることに喜びを感じる
自分は縁の下の力持ちタイプだと思う

D 型系統の質問

D 型系統（合理性傾向）
日頃から判断の合理性を重視している
非合理的な判断に従うことは人生の損失だと思う
機能的で無駄がない組織が好きだ
メリットが少ない行動はしたくない
貴重な時間を無駄にしたくないと感じることがよくある

D 型系統（即断即決傾向）
自分は即断即決なタイプだと思う
選択肢で悩んでいる時間は無駄だと思う
日頃から決断に長い時間をかけない
せっかちだとよく言われる
YES・NO をはっきり言うことが多い

D 型系統（リスク愛好傾向）
他人の決定に従うより、自分で意思決定して責任を負う方を好む
リスクが高い選択肢の方が燃える
この人生では大きな挑戦をし続けたいと思っている
自分は大きなリスクでも積極的に取っていくタイプだ
その他大勢とは違う行動、選択を常にしていきたいと思う

D型系統（個人主義傾向）
日頃から一人又は特定の人間のみと活動することが多い
自分の能力向上を重視するタイプだ
他人の遅いペースに合わせることが得意ではない
他人にあまり関心がない
チームで動くより、個人で動く方が向いていると思う

【行動類型診断テストの仕様書】

【前提条件】

- 行動類型は、達成型・平和型・情報型・外見型・効率型の5種類
- 各質問5点×10問で50問。各類型50点満点
- 最も数値の高い型をその人の行動類型とする。
- 同順位（同数値）の類型が発生した場合の優先順位は「達成→効率→外見→情報→平和」の順番

【各類型の特徴説明】

行動類型は、外面的特徴。対人関係、行動、発言などの傾向を類型化したもの。

達成型の特徴：自己主張が強く、目標達成意欲が高い類型。行動力がある類型であるため営業マンとしての適性が高い。※数値が高いと対人関係トラブルを起こしやすくなる。

平和型の特徴：対人関係を良好に保つように行動する類型。他人の面倒をよく見る類型で、相互の関係を調整する役割を担うため、チームの関係を良好に保つ人材となりやすい。

情報型の特徴：何らかの行動を起こす際はまず情報収集をし、知識を詰め込む類型。他の類型と比べて学習意欲が高く、知識面で優秀な人材が多い。

外見型の特徴：行動を起こす際に「他人からどう見られるか」を重視する類型。良くも悪くも他人からの評価を気にしている類型であるため、営業マンとしての適性はある程度高い。

効率型の特徴：行動を起こす際に最も効率的なもの、費用対効果の高いものを選ぶ傾向が強い類型。合理的な言動が多いため、ビジネスでは高い評価を受ける傾向がある。

【質問の出し方イメージ】

質問例 イメージ

Q. 言いたいことはハッキリ言うタイプだ（達成型の質問）

該当しない	どちらでもない	ある程度該当する	該当する	完全に該当する
0点	2点	3点	4点	5点

各選択肢に応じて、各類型に配点していく。上記の場合は達成型に配点

【質問リスト（候補者側）】

すべての種類の質問をランダムに出題する。

達成型質問リスト

達成型	
1.	言いたいことはハッキリ言うタイプだ
2.	かなりの負けず嫌いである
3.	今まで、何度失敗しても成功するまで挑戦し続けてきた
4.	相手にとってマイナス評価となる場合でも、きちんと本人に伝える方だ
5.	議論には強い方だ
6.	行動量の多さには自信がある
7.	頼まれごとを明確に断ることができる
8.	人の好き嫌いが態度に出やすい
9.	多少口論になったとしてもしっかり反論するタイプだ
10.	他人と競争することがとても好きだ

平和側質問リスト

平和型	
1.	他人と喧嘩をすることはめったに無い
2.	他人と喧嘩になりそうな雰囲気を瞬時に察知できる
3.	他人を傷つけないように細心の注意を払っている
4.	他人との議論は極力避ける
5.	人間関係で不満があってもできる限り我慢する
6.	自分の意見をいうより、相手の意見を聴くことに注力している
7.	基本的に他人を嫌いになることは少ない
8.	いつもみんなと仲良く過ごしたい
9.	どんな人ともある程度話を合わせることができる
10.	誰かの為になるなら自己犠牲もいとわない

情報型質問リスト

情報型	
1.	決断をする前にまず必要な情報を調べる
2.	新しい知識を身につけて仕事やプライベートで活かすことが大好きだ
3.	自分の専門分野のことを話すとき、ついつい口数が多くなる
4.	自分の気になる分野の調査活動では時間を忘れるほど集中する
5.	日頃から情報収集を怠らず、それを整理するよう努めている
6.	自分の専門分野では絶対に負けたくない
7.	休みの日も自分の好きな分野の調査や研究を行うことが多い
8.	情報を様々な角度から分析するタイプだ
9.	好きなものやグッズを集めてしまう癖がある
10.	学習や読書をするのが習慣となっている

外見型質問リスト

外見型	
1.	人前に立つときは完璧であるよう努力する
2.	行動する際は、他人からどう見えるかを気にするようにしている
3.	他人からの視線が気になってしまうことがある
4.	身だしなみには特に気を使っている
5.	他人から評価されるために一生懸命努力するタイプだ
6.	他人の前でだらしない格好や姿は見せたくない
7.	人前ではカッコいい自分、カワイイ自分を演じていたい
8.	他人からの批判が怖い
9.	横文字をよく使う癖がある（アジェンダ、フィックスなど）
10.	他人から認められたいという欲求が強い

効率型質問リスト

効率型	
1.	最も小さい労力で最高の成果を上げようと努力する
2.	無駄な交友関係は極力排除している
3.	物事をゴールから逆算して最短ルートを行くことが得意だ
4.	選択肢のメリット・デメリットを分析してメリットが多い方を選ぶ
5.	非効率なルールは変えていくタイプだ
6.	絶対に損をしたくない
7.	物事を効率化・簡易化することが得意だ
8.	買い物などでポイントを貯めることが好きだ
9.	欲しいものは多少苦勞してでも安く手に入れたい
10.	コスパの良い商品やサービスを手に入れるためなら努力を惜しまない

【価値観（志向）診断テスト仕様書】

【前提条件】

- 価値観類型（「志向類型」ともいい）は、安定型、挑戦型、経営型、専門型の 4 類型
- 各類型 6 問ずつ出題、1 問 5 点で 30 点満点
- 8 割以上の得点なら「S（その価値観・志向を強く有している）」、7 割以上 8 割未満なら「A」、6 割以上 7 割未満なら「B」、5 割以上 6 割未満なら「C」、それ以下は「D」

【各類型の特徴説明】

価値観（志向）類型は、その人がどのような価値観・志向を持っているのかで人間を類型化するもの。

安定型の特徴：安定した人生を歩みたいという志向が強い類型。仕事では、規模が大きく、安定した組織で長く働くことを好む。福利厚生や定期昇給、充実した教育体制などが充実している大手上場企業や公務員などに向いている人材。

挑戦型の特徴：常に挑戦をして、人生に変化を起こしていたいという志向が強い類型。仕事では、変化が激しく、常に成長を求められる環境を好むため、ベンチャー企業やスタートアップに向いている人材。

経営型の特徴：専門家よりも、様々な経験を経て経営管理を行うマネジメント層に進みたいという志向が強い類型。年齢が若くても昇進できる企業や様々な業務を任されるベンチャー企業などに向いている人材。

専門型の特徴：自身の専門性を徹底的に高めたいという志向が強い類型。組織の大小・安定性などよりも、自分の専門性を磨ける環境が整っているか、経験が積めるかに関心がある人材。専門職に向いている。

【質問の出し方イメージ】

質問例 イメージ

Q. 安定した平穏な暮らしを手に入れたい（安定型の質問）

該当しない	どちらでもない	ある程度該当する	該当する	完全に該当する
0点	2点	3点	4点	5点

各選択肢に応じて、各類型に配点していく。上記の場合は安定型に配点

【質問リスト（候補者側）】

すべての類型の質問をランダムに出題する。

安定型の質問リスト

安定型	
1.	安定した平穏な暮らしを手に入れたい
2.	福利厚生が整っている企業で働きたい
3.	変化の激しい職場は苦手だ
4.	昇給を狙いやすい職種より、安定している職種の方が良い
5.	大手企業の従業員や公務員などに憧れる
6.	中小企業で将来の不安を抱えたくない

挑戦型の質問リスト

挑戦型	
1.	人生に常に変化を起こしていきたい
2.	挑戦のない人生なんてつまらないと思う
3.	安定した暮らしより、常にワクワクできる暮らしをしたい
4.	自分の実力次第で給与が上がっていく職場の方が好きだ
5.	昇進・昇格のチャンスが多い職場で働きたい
6.	ずっと同じ仕事をし続けるのには耐えられそうにない

経営型の質問リスト

経営型	
1.	将来は経営者になりたいと思っている
2.	多くの部下をマネジメントする役職に就きたい
3.	一つの職種を極めるより、様々な職種を経験したい
4.	管理職になるためにマネジメントスキルを身につけたい
5.	他人の面倒を見ることが好きだ
6.	他人を導くこと、教育することに強い関心がある

専門型の質問リスト

専門型	
1.	自分の専門分野を極めたい
2.	将来は何らかの専門家になろうと思っている
3.	様々な職種を経験するより、一つの職種を極めたい
4.	他人を教育することにあまり興味がない
5.	管理職より専門職の方が自分にあっている
6.	自分の世界に入って集中して作業をすることを好む

【モチベーション診断テスト仕様書】

【前提条件】

- 何に対してモチベーションを持っているのかを診断するテスト
- 傾向は5つ
 - ・ 報酬重視傾向
 - ・ やりがい重視傾向
 - ・ 人間関係重視傾向
 - ・ 私生活重視傾向
 - ・ 仕事重視傾向
- 傾向ごとに 6 問ずつ出題、1 問 5 点で 30 点満点
- 8 割以上の得点なら「S（その傾向を強く有している）」、7 割以上 8 割未満なら「A」、6 割以上 7 割未満なら「B」、5 割以上 6 割未満なら「C」、それ以下は「D」

【各傾向の特徴説明】

報酬重視傾向：報酬の高さを重視する傾向

やりがい重視傾向：やりがいを重視する傾向

人間関係重視傾向：人間関係を重視する傾向

私生活重視傾向：仕事よりも私生活の充実を重視する傾向

仕事重視傾向：私生活の充実よりも仕事を重視する傾向

※モチベーションは家庭環境や体調の変化などによって日々変化していくものなので、診断を受けたその時点での診断結果でしかない点に注意が必要。

【質問の出し方イメージ】

質問例 イメージ

Q. とにかくたくさん稼ぎたい（報酬重視傾向の質問）

該当しない

0点

どちらでもない

2点

ある程度該当する

3点

該当する

4点

完全に該当する

5点

各選択肢に応じて、各傾向に配点していく。上記の場合は報酬重視傾向に配点

【質問リスト（候補者側）】

すべての種類の質問をランダムに出題する。

報酬重視傾向の質問リスト

報酬重視傾向	
1.	とにかくたくさん稼ぎたい
2.	所得を増やして実現したいことがある
3.	多少キツくても年収が高い職場を選ぶ
4.	年収は自分の実力を示す指標だと思う
5.	やりがいがある職場より年収が高い職場を選ぶ
6.	自分の実力次第で高額報酬を得られる職場が良い

やりがい重視傾向の質問リスト

やりがい重視傾向	
1.	お金よりやりがいの方が大事
2.	やりがいのない仕事はしたくない
3.	誰かの役に立ちたいという欲求が強い
4.	人生にとって意義のある仕事をしたい
5.	報酬の高低より社会的意義の有無で仕事を選びたい
6.	自分のやりたいことのためなら報酬にはこだわらない

人間関係重視の質問リスト

人間関係重視傾向	
1.	何よりも人間関係を重視して職場を選びたい
2.	職場の人間関係で苦勞するのは時間の無駄だ
3.	年収が高くても嫌いな人ばかりの職場では働きたくない
4.	自分は人間関係でストレスを感じやすい
5.	素晴らしい仲間と働けるのであれば多少年収が低くても良い
6.	職場の雰囲気がピリピリしているところは嫌だ

私生活重視傾向の質問リスト

私生活重視傾向	
1.	仕事は生活費を稼ぐためだと割り切っている
2.	プライベートが一番大切だ
3.	仕事とプライベートなら迷わずプライベートを優先する
4.	プライベートの充実こそがやる気の源
5.	私生活を大事にしたいので勤務時間は少ない方がいい
6.	仕事中心の人生にはしたくない

仕事重視傾向の質問リスト

仕事重視傾向	
1.	仕事に熱中している時間が一番の幸せ
2.	長時間勤務も楽しいと感じる
3.	仕事中心の生活でも全く苦にならない
4.	仕事のスケジュールが詰まっている方が安心する
5.	私生活より仕事の方を優先したい
6.	仕事のためなら転勤・移住も苦にならない

【メンタル診断テスト仕様書】

【前提条件】

- 傾向ごとに 10 問ずつ出題、1 問 5 点で 50 点満点
- 8 割以上の得点なら「S（リスクが高い）」、7 割以上 8 割未満なら「A」、6 割以上 7 割未満なら「B」、5 割以上 6 割未満なら「C」、それ以下は「D」

【何を診断するか】

以下の診断テストを作っておくので、必要な診断テストのみをご利用ください

- ・ うつ傾向診断テスト
- ・ アスペルガー傾向診断テスト
- ・ ADHD 傾向テスト
- ・ 誠実性診断テスト（嘘をつく傾向を診断するテスト）

【質問の出し方イメージ】

質問例 イメージ

Q. 最近身体がダルく感じる事が多い（うつ傾向診断の質問）



各選択肢に応じて配点していく。上記の場合はうつ傾向に配点

【質問リスト（候補者側）】

すべての種類の質問をランダムに出題する。

質問リスト

うつ傾向診断テスト

うつ傾向診断テスト	
1.	最近身体がダルく感じるが多い
2.	気分が落ち込むことが多い
3.	朝は特に無気力になりやすい
4.	最近なかなか眠れない日が増えた
5.	頭痛がする日が多い
6.	最近食欲がない日がよくある
7.	何をしてもつまらないとすることがある
8.	思い通りに仕事を片付けられないことがよくある
9.	自分はとても罪深い人間だと思う
10.	悲しい又は不幸だと感じる日が多い

アスペルガー傾向診断テスト

アスペルガー傾向診断テスト	
1.	他人の感情を理解することが難しいと感じることがよくある
2.	数字に強いこだわりを持っていて、好きな数字が存在する
3.	3人以上のグループで会話をすることが難しい
4.	集中し過ぎて周りが見えなくなることがよくある
5.	小さな音が気になってしまうことがよくある
6.	自分は他人が気にならない細部にまでこだわってしまうタイプだ
7.	自分のルーチンワークを邪魔されるとイライラしてしまう
8.	他人の冗談を真に受けてしまうことがよくある
9.	他人の表情から感情を読み取ることは難しいと感じる
10.	無意識的に失言をしてしまうことがよくある

ADHD 傾向テスト

ADHD 傾向テスト	
1.	自分はいつも最後の詰めが甘いと思う
2.	一度に複数のことを同時に実行することがよくある
3.	細かい計画を立てることが苦手だ
4.	物忘れが多い方だ
5.	他人との約束の時間を守れなかったことが多い
6.	じっくり時間をかけて考えることが苦手だ
7.	同じところにずっと座って作業をすることが苦手だ
8.	身体を動かさずにはいられなくなることがある
9.	努力しないといけないことは避けたい
10.	大事なものをよく失くしてしまう

誠実性診断テスト

誠実性診断テスト	
1.	相手を楽しませるために話を盛ることも必要だ
2.	少しオーバーなリアクションも時には必要だ
3.	話の辻褄を合わせるのが得意だ
4.	相手に合わせて自分のキャラクターを変えられる
5.	自分の頭の中にあるイメージを面白可笑しく話すことができる
6.	相手のリアクションに合わせて話し方を変えることができる
7.	失敗したとしても何とか取りつくろうことができる
8.	相手が傷つかないように事実を隠して話すことがある
9.	相手の反応を予測しつつ喋ることができる
10.	部下や後輩の前ではカッコよくありたい